
江戸小廻 パチアタリ

南 多聞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

江戸小嘶 バチアタリ

【NZコード】

N7140Q

【作者名】

南 多聞

【あらすじ】

江戸小嘶 奈良の大仏へお参りした後に

よくぞおこし頂きました、今年は太陽の黒点活動が激しく「厄年」と物騒な年になるんでござります。

先日も神社へ参拝にいきました、お御籤引きました所、何と大吉が出てしまうのですよ。

普通の方は大吉喜ぶんですがね、あたしは嫌いなんでござりますよ。
・もう上がりようがない。

大凶が大好きなんでござります・・これ以上落ち様が無いってね。

さて、物事は見様によつて変わるものなのですが
大工のハさんと長屋の大家さんとの話をしています。

「大家さんごめんなさいよ」

「おやハツあん、どうしたんだね」

「いえね、母アと奈良の大仏さんへチョイトお参りへ行つてきやして、大家さんにお土産でサ」

「そろかい、ハツあんにしては気が利いてるじゃないか」

「それがその後夢見^{あと}が悪くて、それで大家さんに相談でさ」

「お参りしたあと夢見が悪いとは、ご利益貰つたんじゃ無いのかい、どんな願いをしたんだね」

「お願えする前に、大仏さんの手の格好に圧倒されちまつて」

「あの手の形は印相^{よがんじやく}と言つてな、右手は施無畏^{せむい}で安心しなさい、左手は与願印^{よがんいん}で願いを叶えるということなんだよ」

「あつしが賽銭ケチつたもんだから、昨晩大仏さんが右手でチョイト兄さんと中指曲げて『何かお忘れやしてやせんか』と手招きしやして、左手の親指と人差し指で丸を作るんでサ」

「ケチつたつて幾ばくかのお布施は出したんだろうね」

「大家さんそれが、一銭も出さずでして」

「そりやいけないね、今更奈良までは無理つてもんだ。そうだ鎌倉

の大仏さんに行つて奈良の大仏さんの分もと賽銭あげてお出でよ」

翌日、ハツあんは血相を変えて再び大家を訪れた

「大家さん 大変な事に成つちました」

「どうしたんだよ、今度はご利益頂いたかい」

「鎌倉の大仏さん、両手を受けて待つてたんでサ」

「それは良かつた、もし大仏さんが手を上げてたら」

「手を上げてたら？」

大仏だけにブツぞう、どうぞう になります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7140q/>

江戸小嘶 バチアタリ

2011年10月8日14時47分発行